

USS

Used car  
System  
Solutions

株式会社ユー・エス・エス

# 会社説明資料

証券コード：4732

U  
S  
S

# 本日の内容

1

**当社の概要・業績について**

2

**オートオークション事業について**

3

**リサイクル事業について**

4

**業績予想について**

5

**株主還元**

1

**当社の概要・業績について**

2

**オートオークション事業について**

3

**リサイクル事業について**

4

**業績予想について**

5

**株主還元**

# 会社概要

商号	株式会社ユー・エス・エス（英文名 USS Co., Ltd.）
代表者	代表取締役会長兼最高経営責任者 安藤 之弘 代表取締役社長兼最高執行責任者 瀬田 大
本社所在地	愛知県東海市新宝町507番地の20
資本金	188億円
設立	1980年10月
従業員数	正社員1,114名（グループ全体）
株主数	18,272名
決算期	3月末日
上場市場	東京証券取引所・名古屋証券取引所 市場第一部
証券コード	4732

（2021年9月30日現在）

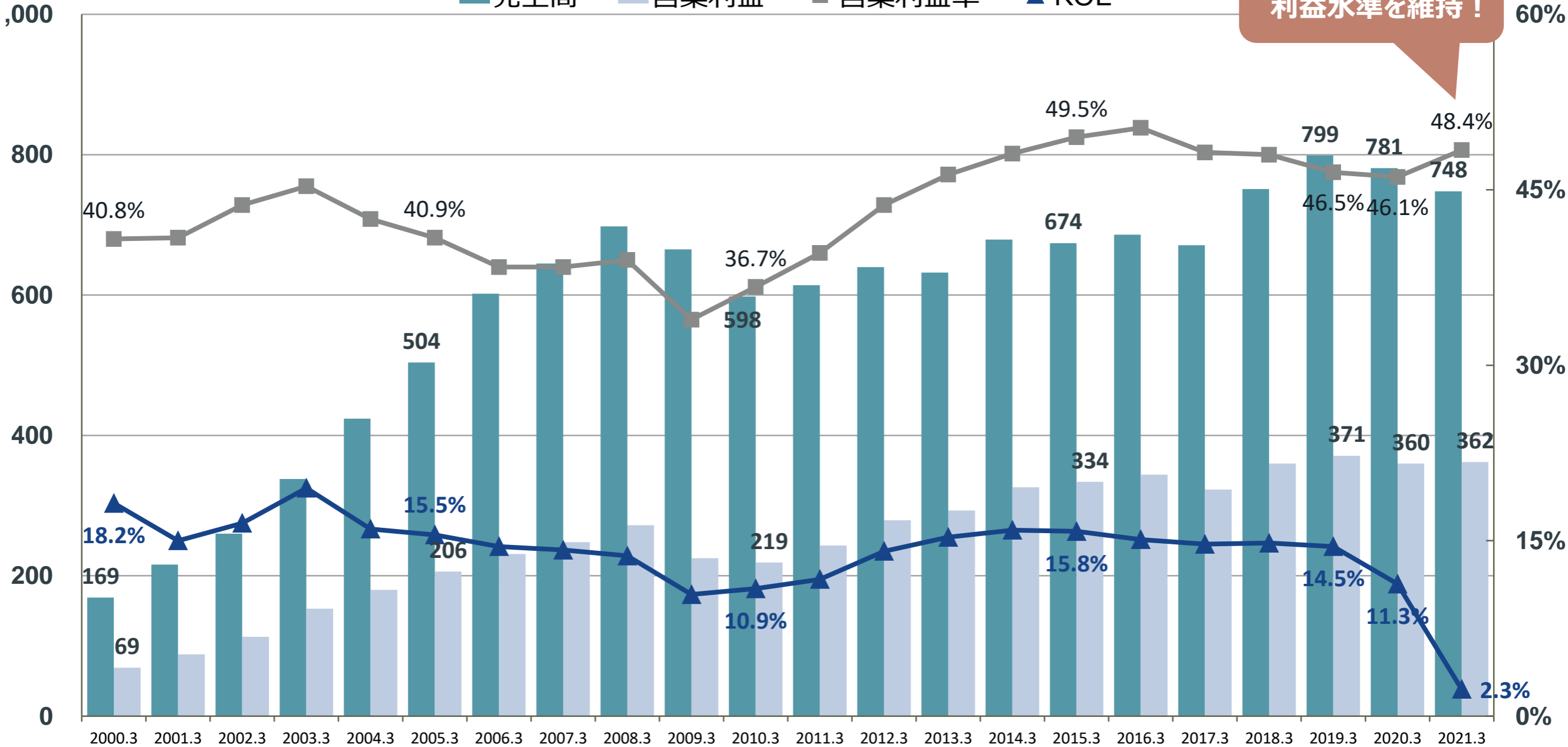
# 連結業績の推移

(単位：億円)

1,000

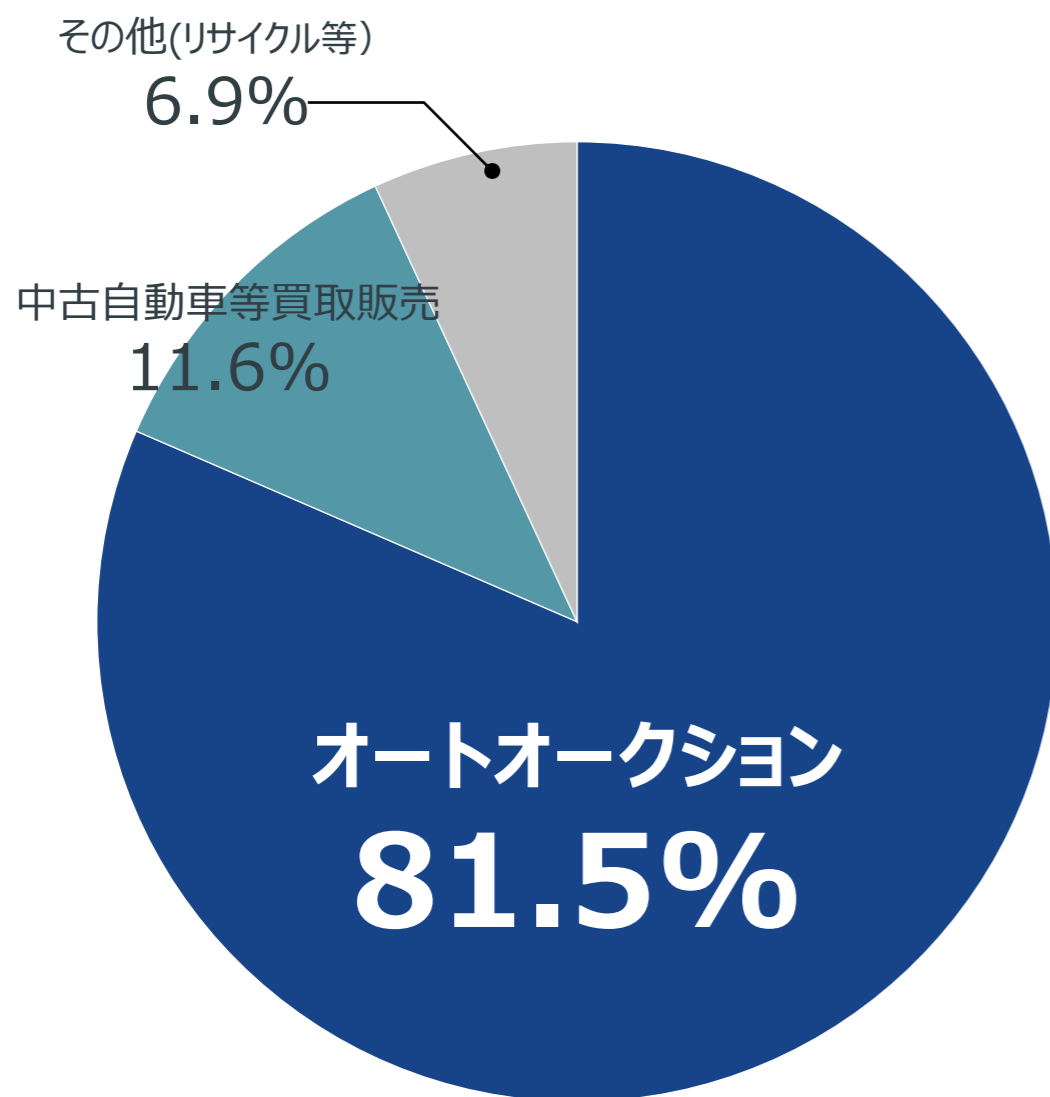
売上高 営業利益 営業利益率 ROE

コロナ禍でも  
利益水準を維持！

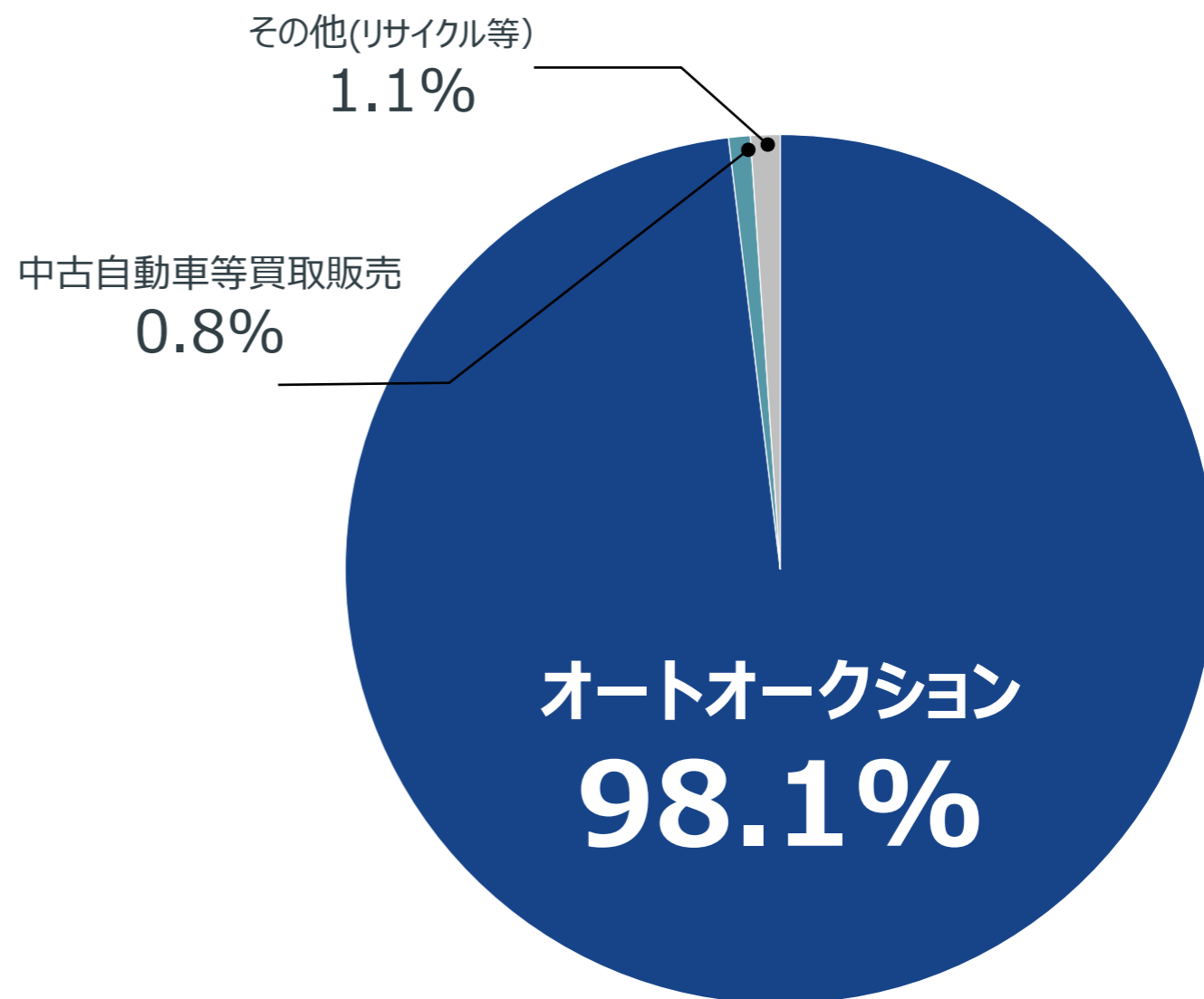


# 売上高・営業利益構成比について

セグメント別  
売上高構成比  
(2021.03)



セグメント別  
営業利益構成比  
(2021.03)



1

当社の概要・業績について

2

オートオークション事業について

3

リサイクル事業について

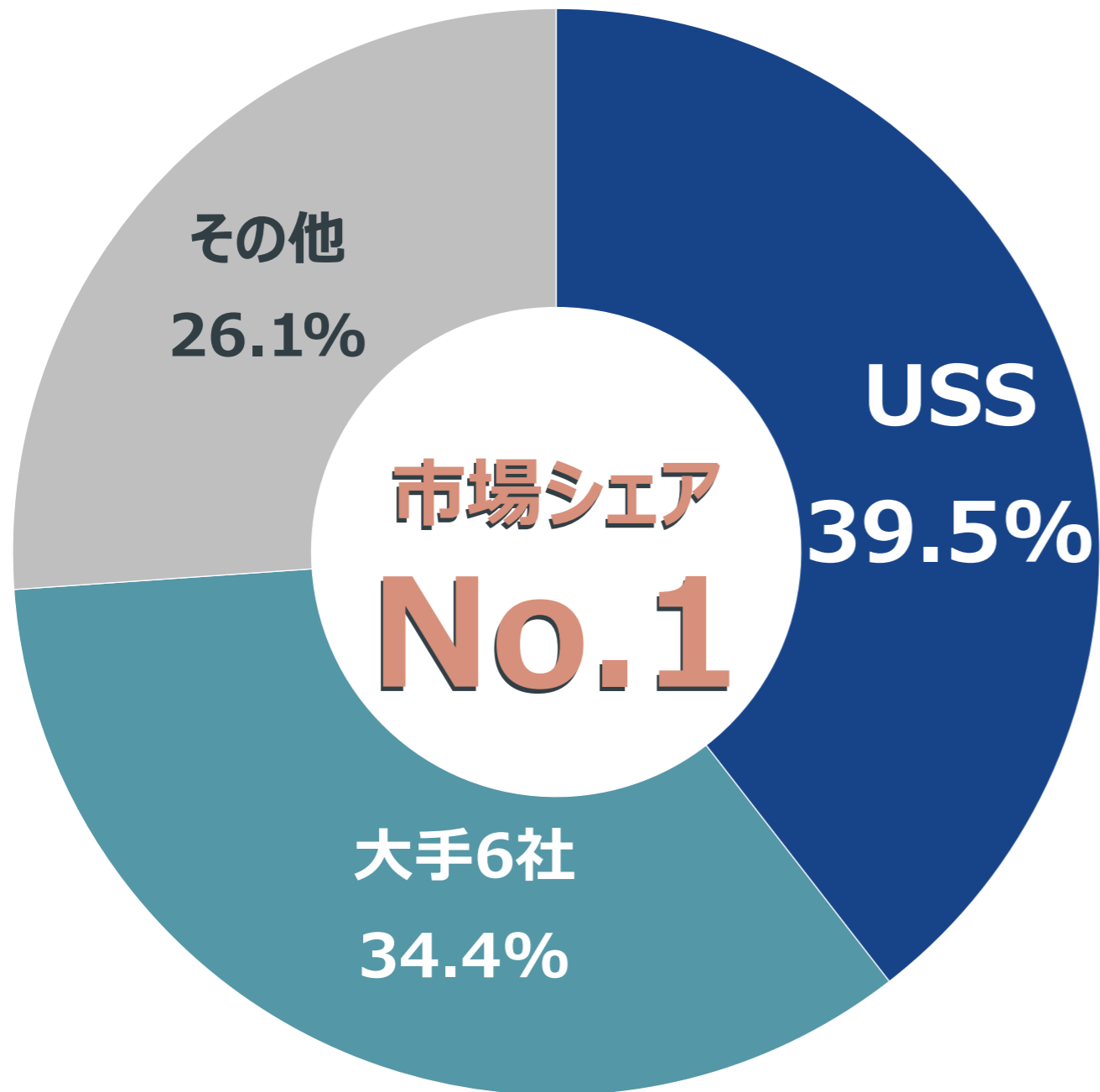
4

業績予想について

5

株主還元

# オートオークション業界における競争力



圧倒的な会員数 **48,121社**

(2021年12月31日現在)

業界最大手 全国**19**会場を展開

東京・名古屋・HAA神戸など  
**大規模会場**

衛星TV・インターネットを通じた  
**外部落札システム**

2021年（1月～12月）市場シェア

\*大手6社：TAA(12.9%), CAA(5.4%), アライAA(5.3%),  
MIRIVE(5.1%), JU岐阜(3.2%), ホンダAA(2.5%)

# 大規模会場について

＜近畿地区＞ **46.7%**

会場名	出品台数	シェア
HAA神戸	218,832	20.3%
USS大阪	204,410	18.9%
TAA近畿	127,608	11.8%
MIRIVE大阪	104,193	9.6%
USS神戸	80,788	7.5%
いすゞモーターA神戸	56,319	5.2%
ベイオーク	53,855	5.0%
TAA兵庫	46,133	4.3%
ホンダAA関西	44,654	4.1%
IAA大阪	39,363	3.6%

＜中部地区＞ **41.5%**

会場名	出品台数	シェア
USS名古屋	458,773	27.7%
JU岐阜	220,760	13.3%
CAA中部	174,111	10.5%
JU愛知	148,845	9.0%
USS-R名古屋	105,934	6.4%
USS静岡	105,927	6.4%
TAA中部	91,613	5.5%
MIRIVE愛知	72,043	4.3%
CAA岐阜	57,296	3.5%
JU静岡	42,846	2.6%

出品台数国内  
第2位

出品台数国内  
第1位

USSは関東・中部・近畿の3大市場で  
それぞれ4割以上のシェアを獲得。  
(地域ナンバー1会場を運営)

＜関東・甲信越地区＞ **41.2%**

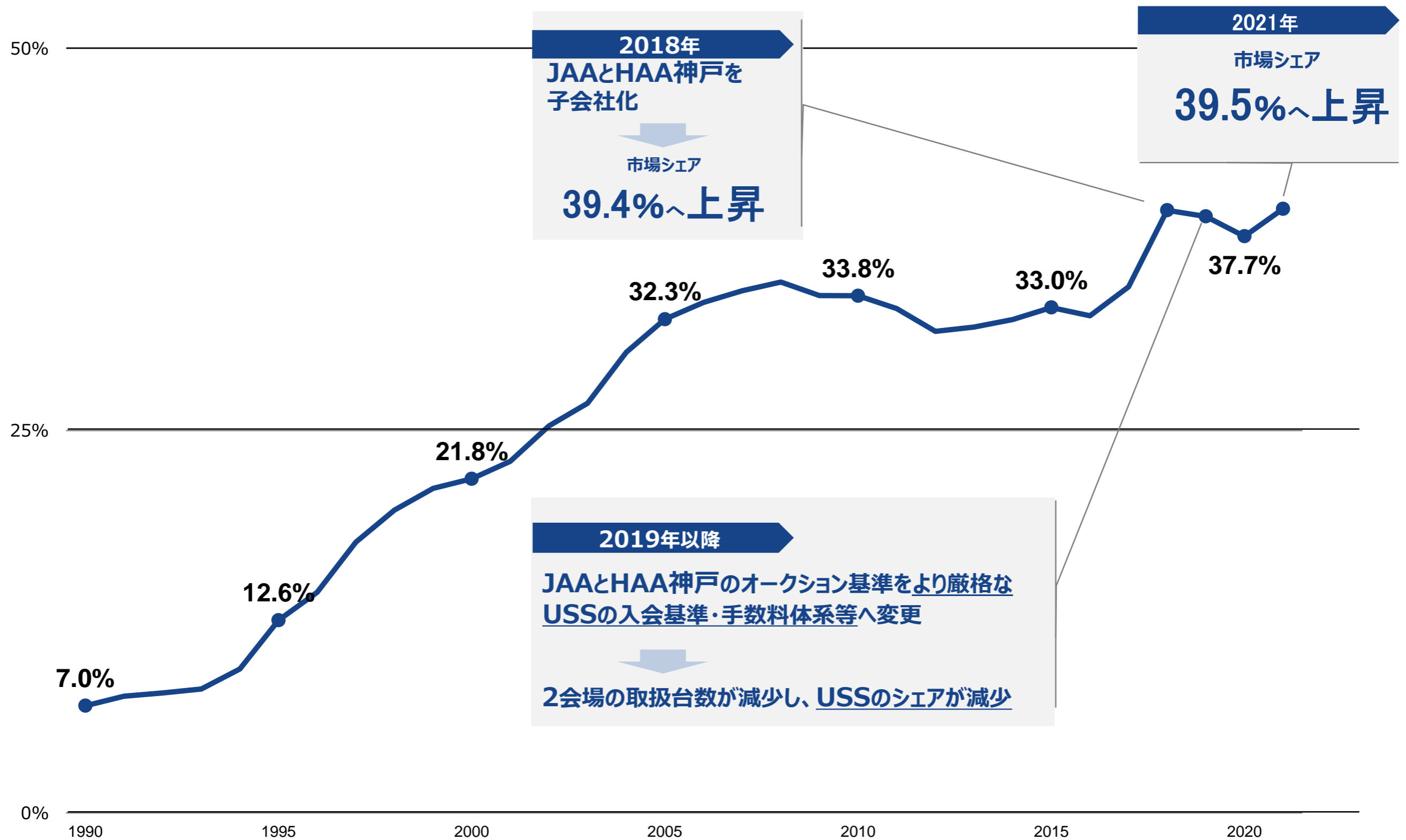
会場名	出品台数	シェア
USS東京	654,651	25.6%
アライAA小山バントラ	196,276	7.7%
USS横浜	180,956	7.1%
MIRIVE埼玉	179,397	7.0%
TAA横浜	157,321	6.1%
CAA東京	115,367	4.5%
TAA関東	112,038	4.4%
JU埼玉	96,521	3.8%
JAA	72,187	2.8%
アライAAベイサイド	71,201	2.8%

※2021年1月-12月実績

※関東・甲信越地区の地域シェアはUSS東京、横浜、群馬、埼玉、新潟、JAA会場を含みます。

※中部地区の地域シェアはUSS名古屋、R名古屋、静岡、北陸会場を含みます。

# USSシェアの推移(暦年)



# オートオークション市場との比較

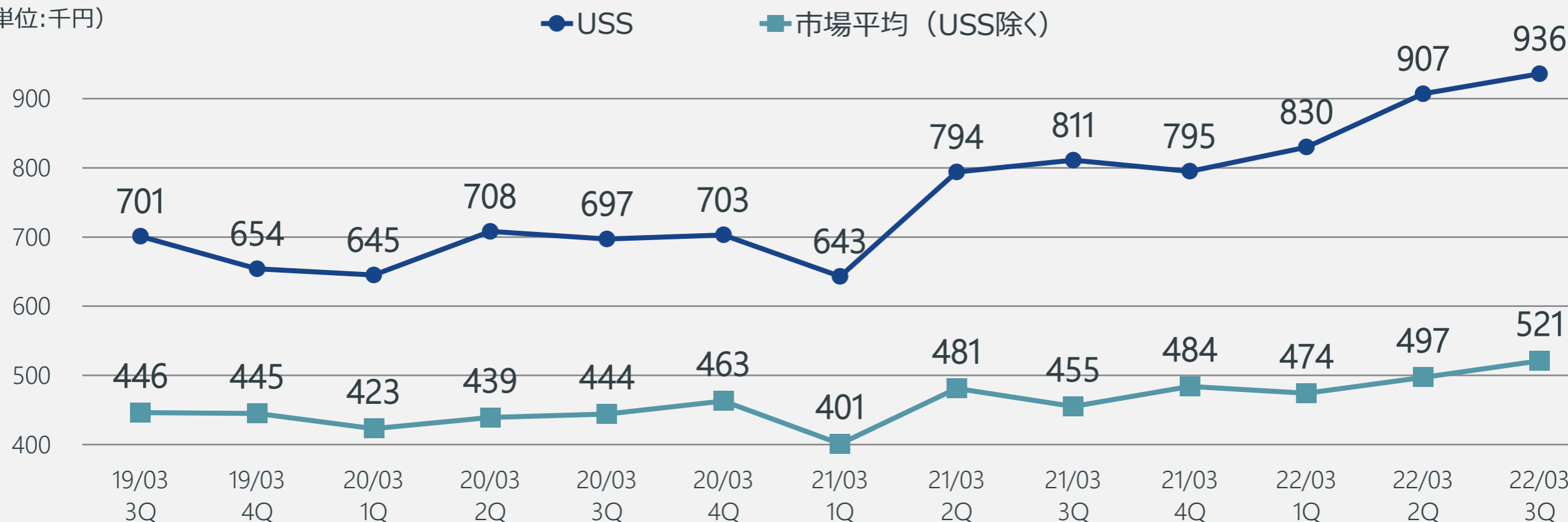
USSは市場平均よりも高い成約車両単価

➔ 高品質の車両が集まる傾向

※半導体不足等による新車供給の停滞→下取り車の発生減少などにより中古車相場が高騰

1台当たり成約車両金額の比較（四半期推移）

(単位:千円)



# 第1回 オークションの風景



1982年8月 第1回USS名古屋AA開催風景



1980年ごろ AA開催風景



1982年8月、記念すべき第1回オークションが手ゼリ方式にて開催。  
北海道から沖縄まで予想を上回る**380人**の参加者を集め、  
**255台**のクルマが競りにかけられ、**75.8%**という高い成約率を記録しました。

# 現在のUSS名古屋会場風景



名古屋会場 全景

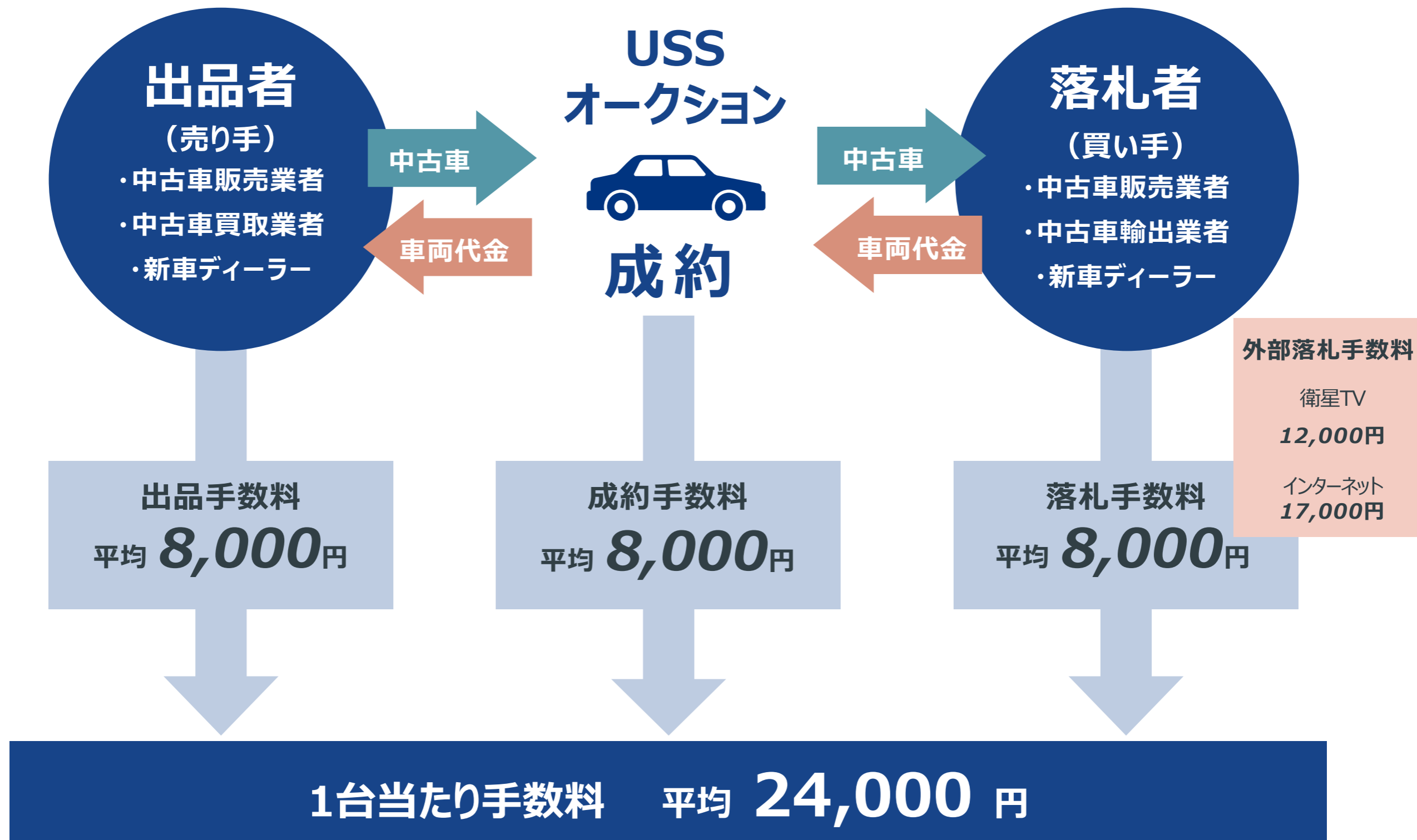


2013年8月、名古屋新会場をオープン！！

同時**10レーン**方式を採用。名古屋会場全体の収容台数は**16,000台**

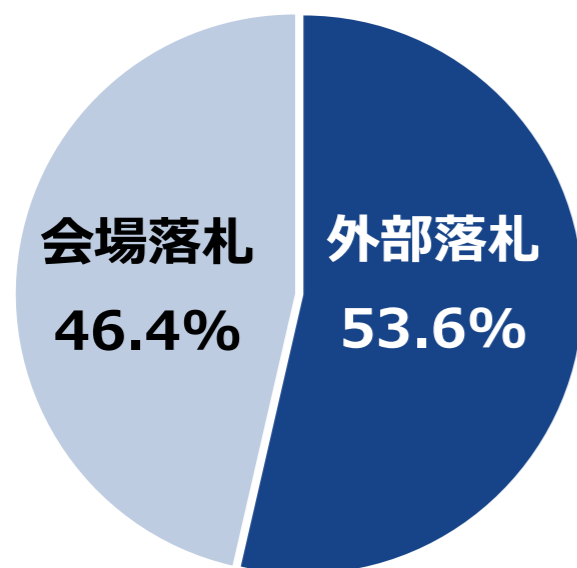
1開催当たり**平均9,000台**（2021年3月期）の車が競りにかかります。

# オートオークション ビジネスモデル



# 外部落札(インターネット中継)について

2021年3月期  
落札比率



衛星TV・インターネットによる

**外部落札システムを自社開発して運営**

月会費による安定的な収益を確保

外部落札手数料は高く設定

システム		会員数 (2021年12月31日現在)	月会費	落札手数料
現車会員		48,121社	-	平均8,000円
外部落札 会 員	インターネット(CIS)	33,219社	11,800円	17,000円
	衛星TV	2,109社	57,800円※	12,000円

※月会費内訳：リース料（6年間）24,240円、参加料33,560円

# 公正・公平なオークション運営のために

## 車両検査の充実に取り組む



USSでは独自の10段階の評価基準があります。

USS検査員がすべての出品車両を検査し※、

1台ごとに評価点をつけます。

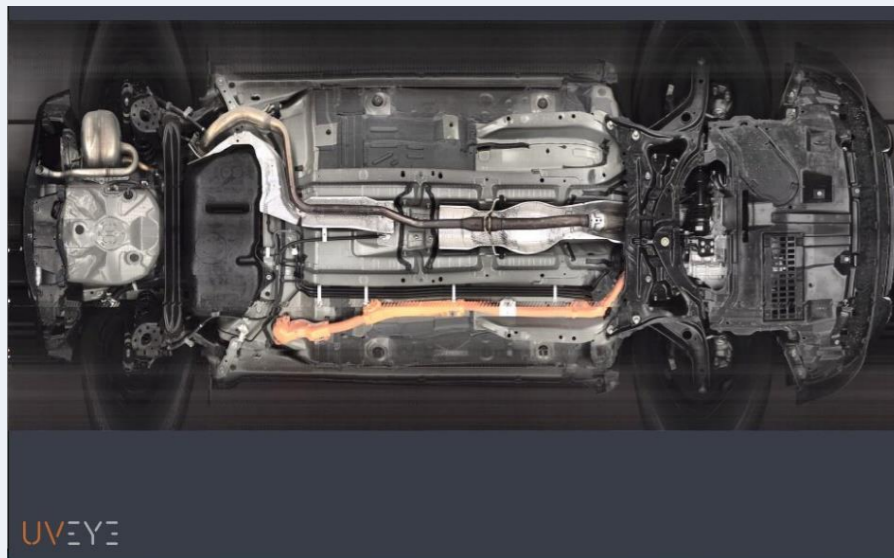
会員はこの評価点を参考に、USSのオークションに参加します。

※一部のコーナーでは車両検査を実施しないことが出品条件になっています。

# 目で見えない瑕疵を見える化するために

## 下回り画像システム

イスラエルのUveye Ltd.が開発した車両の下部とタイヤ・ホイールの撮影システムを導入。専用の撮影ユニットで画像を撮影。下見では確認できない車体下部や外観（タイヤ・ホイール側面）の傷やへこみなどを見ることができます。現在、撮影台数の拡大を目指し、名古屋会場等でユニットの追加導入を進めています。

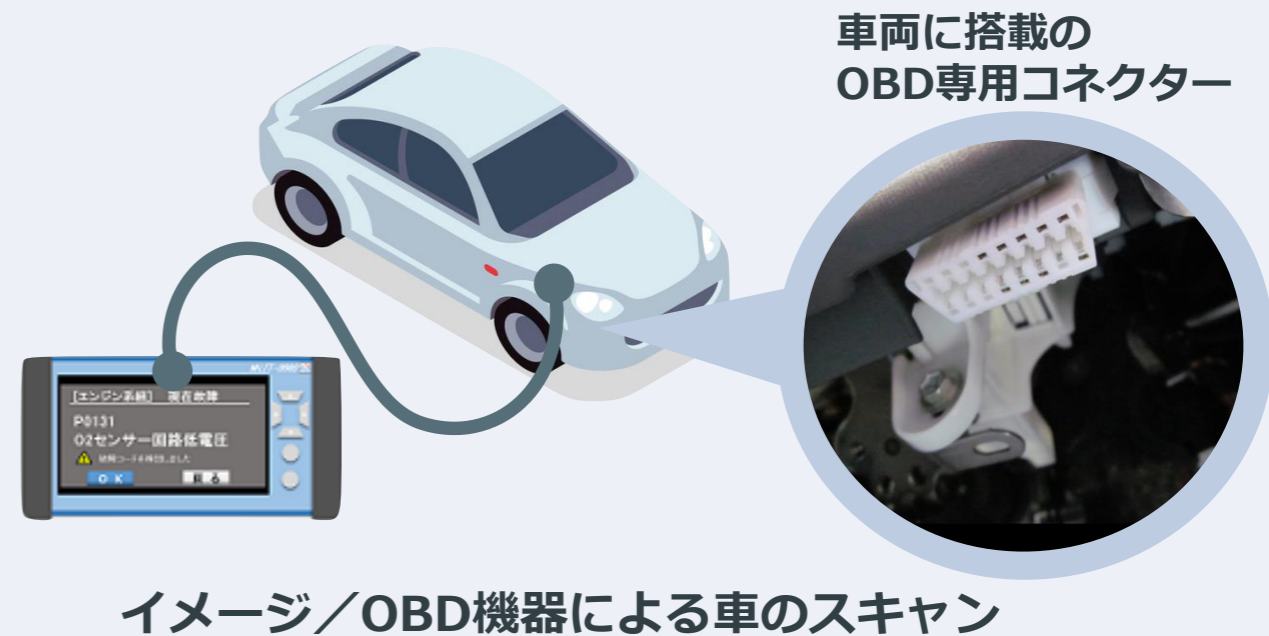


下回り画像

※インターネット会員のみ閲覧可能

## OBD検査

業界初となる車載式故障診断装置(OBD:On-Board Diagnostics)を車両検査に導入。OBD機器でブレーキ、エンジンや安全装置などの機能をチェック、異常がなかった車両のみが専用コーナーへ出品されます。



# 出品票デジタル化の取り組みを開始

2022年3月期中の本格運用を目指し名古屋会場等でテスト運用を実施中

## 現状

出品会員は紙の出品票に車両情報を記載 → USS検査員は検査内容を出品票に追記

## デジタル出品票導入

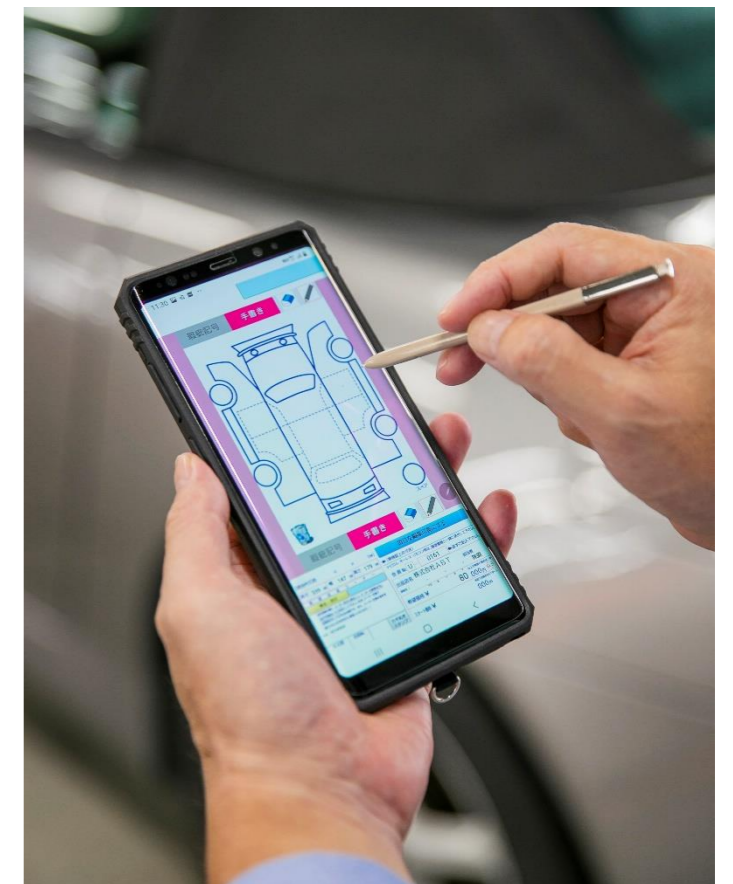
会員が車検証のQRコードを読み込むと、デジタル化した車両情報がUSSへ。

車両情報はUSS検査タブレットに反映。検査員は検査結果をタブレットに入力します。

※ キズや凹みの程度などを選択式で選ぶ形式を採用することで、検査結果の表現が統一されます。

## デジタル化によるメリット

会員の利便性向上やオークション業務の効率化  
今後の活用方法も多岐にわたることが想定



USS検査タブレット

1

**当社の概要・業績について**

2

**オートオークション事業について**

3

**リサイクル事業について**

4

**業績予想について**

5

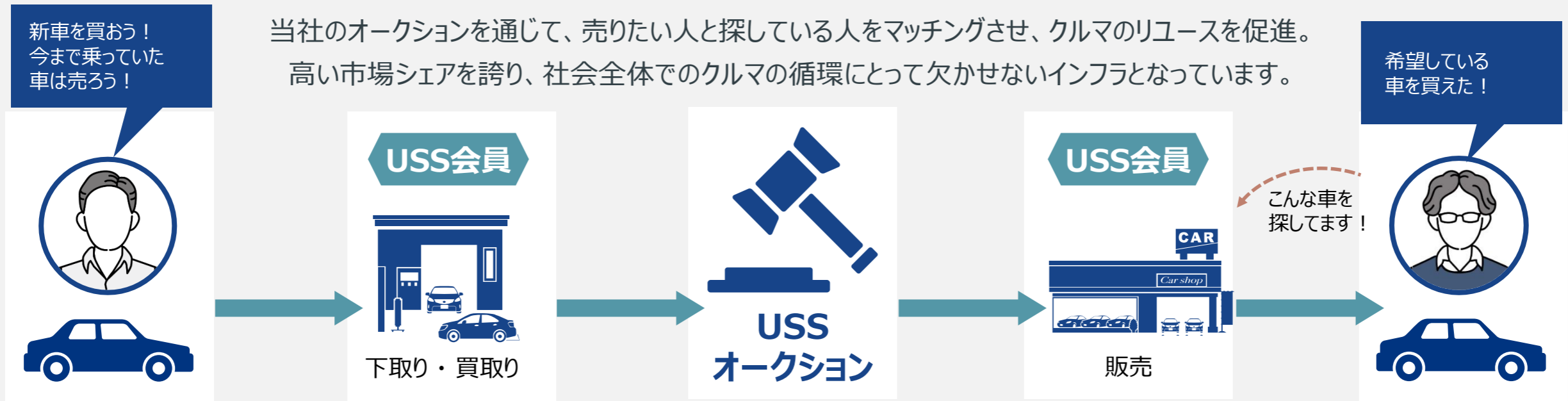
**株主還元**

# 事業による循環型社会への貢献

## オートオークション事業

### クルマの循環を実現するインフラとして確立

当社のオークションを通じて、売りたい人と探している人をマッチングさせ、クルマのリユースを促進。  
高い市場シェアを誇り、社会全体でのクルマの循環にとって欠かせないインフラとなっています。



## リサイクル事業

グループ会社である株式会社アビツでは、廃自動車をはじめとしてさまざまなものを処理・再資源化する事業を展開しています。



アビツがSMFLみらいパートナーズ株式会社※とともに設立した株式会社SMARTでは、プラントを解体・再資源化する事業を展開しています。

※三井住友ファイナンス&リース㈱の100%出資会社

# リサイクル事業（自動車）

持続的な企業成長のために、環境配慮は無視できない重要な課題です。

USSでは、リサイクル事業を事業領域に持ち、廃車を適正に処理し、

限りある資源を有効に活用することで社会課題へ貢献します。



株式会社アビツ

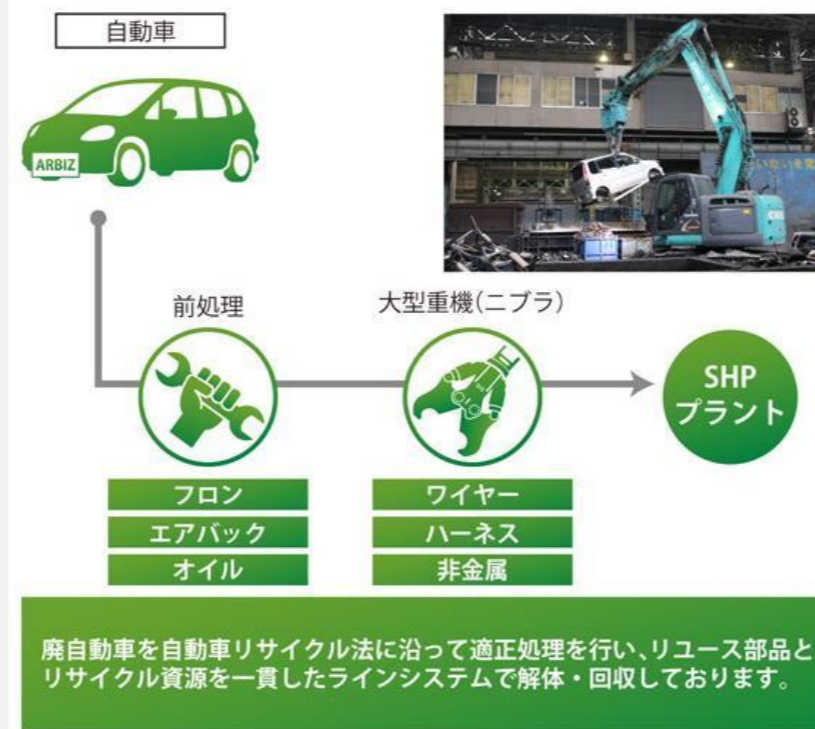
廃自動車等のリサイクルを行う

## 独自技術

自動車破碎物(ASR)から回収した再生できないポリウレタン等の熱硬化性樹脂をバインダーとして使用し、アルミのスラグを混練して成形する省エネ資材。これは昇熱材であり、スラグ調整材として鋼を作る電気炉メーカーに納品し少ない電力量で鉄を溶かしてもう一度鋼を作ることができることに役立っています。

ASRとは“Automobile Shredder Residue”の略。  
自動車由来のシュレッダーダスト（破碎残さ）のことです。

## 自動車リサイクル



## 複合品、金属+プラスチックリサイクル SHP:シュレッダープラント



# 株式会社SMARTの強み

SMARTでは、SMFLグループ（三井住友ファイナンス&リース）のリユースパワーとアビズのリサイクルノウハウを融合させることでニーズが高まっているプラントリサイクルに関するサービスをワンストップで提供。循環型社会づくりに貢献しながら収益拡大を推進しています。

## 社会

循環型社会の  
実現に対する  
期待

## 市場

インフラ設備の  
リプレース  
ニーズ



## 事業の特長



日本中に建設されている大規模な工場やインフラ設備は多くが高度経済成長期に作られたものであり、生産品種の多角化や海外移転、IT・デジタル化等の時代背景によって設備のリプレースや拠点の集約が進んでいます。老朽化した設備の撤去や拠点の閉鎖について一元管理のもとリユース・リサイクル・解体工事を一括提案できるノウハウが必要とされています。

# リサイクル事業（今後の展望）

循環型社会が強く求められる中、そのニーズに応え、自動車のみならずプラントに関してもリサイクル事業を積極的に展開。オートオークション事業という安定収益基盤に加わる新たな成長事業として育成していきます。

成長イメージ

**2050年 もう一つの事業の柱へ**  
設備投資と研究開発を進め、  
カーボンフリーリサイクルによる  
グリーンマテリアル、グリーン工法を提供する



プラント解体工事は相場の影響を  
最小限にするための資源売却スキームを組み、  
独自のエンジニア力によって難易度の高い  
工事を請け負うことで収益を確保



事業構造改革を進め収益安定化へ  
リサイクル料金受託売上げで  
固定費を確保し、資源売却売上げで  
利益を確保する体制

事業規模拡大 リサイクル事業

安定収益の確保  
オートオークション事業

1

当社の概要・業績について

2

オートオークション事業について

3

リサイクル事業について

4

業績予想について

5

株主還元

# 2022年3月期 連結業績予想

(単位：億円)

	2020.3 (実績)	2021.3 (実績)	2022.3 (予想)	前期比
売上高	781	748	776	103.6%
売上総利益 (売上比)	471 (60.4%)	465 (62.1%)	476 (61.4%)	102.3%
営業利益 (売上比)	360 (46.1%)	362 (48.4%)	384 (49.5%)	106.0%
経常利益 (売上比)	367 (47.0%)	369 (49.4%)	391 (50.4%)	105.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益(売上比)	206 (26.4%)	40 (5.4%)	265 (34.1%)	658.8%
1株当たり 当期純利益 (円)	82.44	16.13	106.58	660.8%

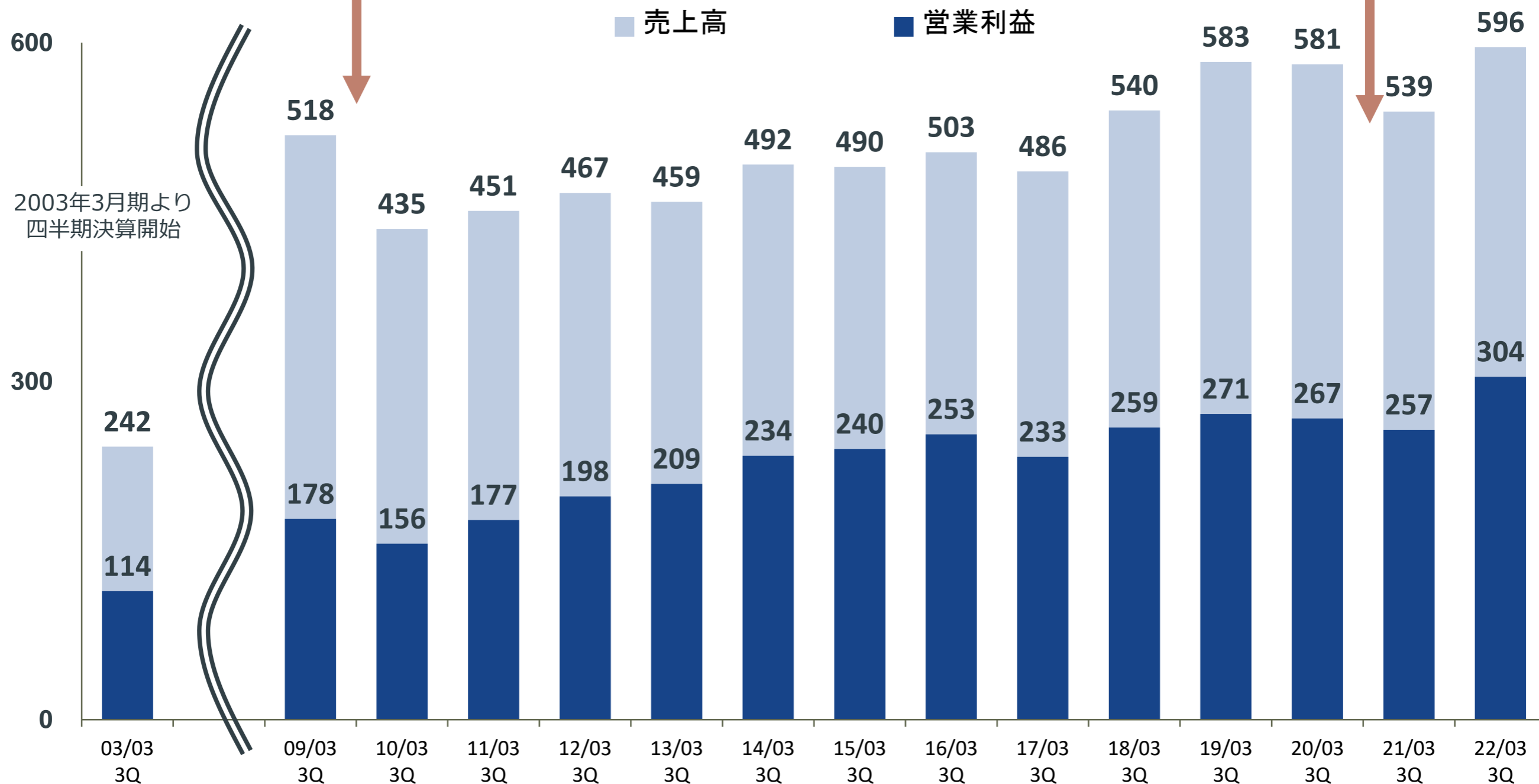
# 第3四半期業績の推移

売上高・営業利益  
過去最高！

2008年9月  
リーマンショック

2019年12月～  
新型コロナ感染拡大

(単位：億円)



1

**当社の概要・業績について**

2

**オートオークション事業について**

3

**リサイクル事業について**

4

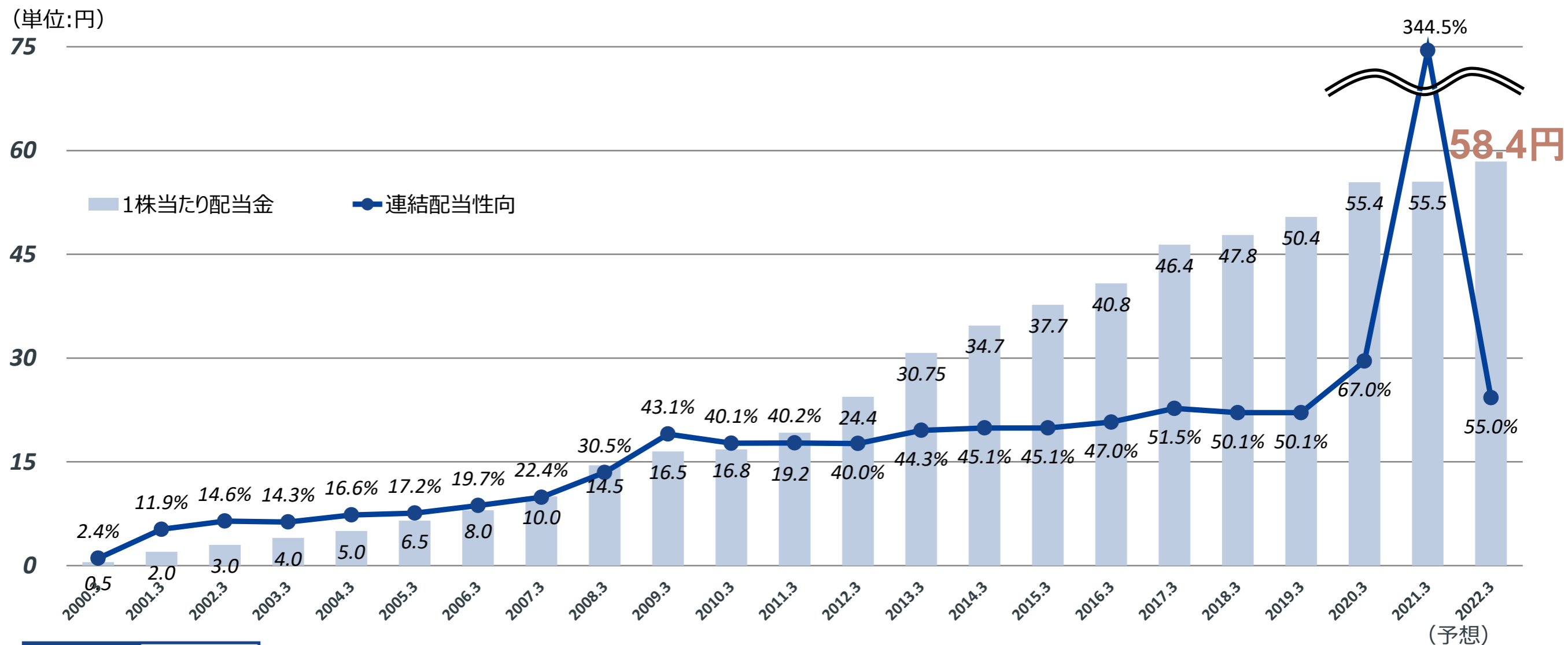
**業績予想について**

5

**株主還元**

# 配当政策について

1. 配当に関する基本方針 連結配当性向 **55%以上**
2. 2022年3月期の1株当たり配当予想 **58.4円** (前期比2.9円増配)
3. 株式上場以来 **22期連続増配予想**



※上記の1株当たり配当金は、株式分割（2013年10月1日効力発生日）を遡及修正して表示しております。

Copyright USS Co.,Ltd. All Rights Reserved.

# 自己株式の取得について

11月9日より**自己株式の取得を開始**しました。

また、自己株式の取得が終了した後、自己株式はすみやかに**発行済株式総数の5%を残して消却する予定**です。

## 自己株式取得内容

取得株式の種類	当社普通株式
取得期間	2021年11月9日～2022年5月31日
取得株式の総数	600万株（上限）
取得価額の総額	100億円（上限）
取得方法	市場取引

# 配当利回り(シミュレーション)

1株当たり年間配当額 **58.4円** (2022年3月期予想)

株価 **1,899円** の場合、年間配当利回り  $\div$  **3.07%**

(2022年2月25日 東京証券取引所終値)

株主優待を考慮すると・・・100株 (500円のQUOカード1枚 (年2回) ) の場合

①年間配当額

**5,840円**

②年間株主優待相当額

**1,000円** (500円相当×2回)

① + ②合計

**6,840円 / 189,900円**

$\div$  **3.60%** (配当利回り+優待利回り)

年間配当利回りにつきましては税引き前の配当金を対象としています。

ご購入の際に必要な、証券会社の売買手数料などは含んでおりません。

株式ご購入の際の手数料などにつきましては、お取引の証券会社にお問い合わせください。

# 株主優待商品（年2回）

100～499株  
QUOカード（500円1枚）



500～999株  
三井住友VJAギフトカード 2,000円分



1,000～9,999株 カタログギフト 5,000円相当



10,000株～ カタログギフト 10,000円相当



# 株価と出来高の推移

2019年2月1日～2022年2月1日



※このグラフはインターネットよりダウンロードしています。  
<https://www.nikkei.com/nkd/company/?scode=4732>

# 「JPX日経400」の組み入れ銘柄に選定

日本取引所グループ及び東京証券取引所と日本経済新聞社は、新たな株価指数「JPX日経400」の算出を2014年1月6日より開始。USSは、この株価指数の構成銘柄の組み入れ銘柄に選定されました。

名称	JPX日経インデックス400（略称：JPX日経400）
構成銘柄数	400銘柄
対象銘柄	東証上場銘柄（市場第一部、市場第二部、マザーズ、JASDAQ）
特徴	資本の効率的活用や投資者を意識した経営観点など、グローバルな投資基準に求められる諸要件を満たした、「 <b>投資者にとって投資魅力の高い会社</b> 」で構成される株価指数
銘柄選定	定量的指標としては、3年平均自己資本利益率（ROE）、3年累積営業利益、選定基準日時点における時価総額等でのスコアリング
定期入替実施日	2021年8月31日
組み入れ銘柄 （東証業種分類「サービス業」）	ミクシィ、日本M&Aセンター、UTグループ、IS・IM・IS、パースルHD、総合警備保障、カクコム、ディップ、ベネフィット・ワン、IMスリー、アウトソーシング、博報堂DY、オリエタルランド、 <b>USS</b> 、フルキャストHD、イン・ジャパン、テクノロムHD、アイ・アールジャパンHD、ジャパンマテリアル、リクルートHD、ベルシステム24HD、バイカレント・コンサルティング、ジャパンエレベーターサービスHD、リログループ、カネモト、セコム、メイテック、イオンデイライト

（出所：株式会社東京証券取引所HP「概要：JPX日経インデックス400」<<https://www.jpx.co.jp/markets/indices/jpx-nikkei400/index.html>>）

# IRに関する質問・お問い合わせ

株式会社ユー・エス・エス

〒476-0005

愛知県東海市新宝町507-20

統括本部 総務部

TEL : 052-689-1129

FAX : 052-604-1915

参考元

(一社)日本自動車販売協会連合会、  
(一社)全国軽自動車協会連合会、(株)ユーストカー

## 〈当資料取り扱い上の注意点〉

本資料には将来の見通しに関する記述が含まれております。

将来に関する記述は、現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。

この将来見通しには、仮定または仮定に基づく根拠が含まれており、環境によっては想定された事実や根拠は実際の結果とは異なる場合があります。

当社または当社の経営者は、将来の結果についての期待または確信を述べておりますが、その期待や確信、あるいはそれに近い結果が実際に達成されるという保証はありません。

また法令上、別途の定めがある場合を除き、当社はいかなる将来見通しも最新のものとする義務を負っておりません。

IRに関するご質問については、こちらより受けております。

<https://www.ussnet.co.jp/ir/contact/>